

***** 2011年放射線疫学調査講演会 プログラム *****

放射線の健康影響について
- 低線量、年齢効果、甲状腺リスクの観点から -

13:15 開会挨拶

座長 公益財団法人 体質研究会 主任研究員 巽 絢一

13:25 講演 1 「生物学的メカニズムからみた被ばく時年齢依存性」

独立行政法人 放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター
発達期被ばく影響研究プログラムリーダー 島田 義也

14:15 講演 2 「原爆被爆者における低線量被ばくの影響および被ばく時年齢効果」

財団法人 放射線影響研究所 広島疫学部長 小笹 晃太郎

14:55 (休憩)

座長 長崎大学 名誉教授 長瀧 重信

15:10 講演 3 「放射線被ばくの甲状腺への影響：原爆被爆とチェルノブイリ事故でわかったこと」

財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 研究員 今泉 美彩

15:50 講演 4 「チェルノブイリ事故における小児甲状腺がん過剰の遺伝子からの考察」

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻 准教授 鈴木 啓司

16:30 (休憩)

16:40 総合討論

〔話題提供〕「高自然放射線地域住民のがんリスクについて」

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 健康科学専攻
人間環境学講座 疫学・予防医学分野 教授 秋葉 澄伯

「低線量影響の不確実性と変動要因」

東京医療保健大学 教授 伴 信彦

「原子力発電施設等放射線業務従事者等に係る疫学的調査について」

財団法人 放射線影響協会 放射線疫学調査センター長 笠置 文善

17:25 閉会挨拶